



駅前を花でおもてなす

市では、鳥羽を訪れる観光客を花で彩られた空間で歓迎しようと11月24日、近鉄鳥羽駅前で「鳥羽ウエルカムフラワーセレモニー」を行いました。

セレモニーでは、市内の小学3～6年生の女子児童12人でつくる鳥羽マーチング少年団が海女着姿で「海」など3曲を演奏し、訪れた見物客から大きな歓声を送られていました。演奏後、児童らは駅前のプランターにパンジーとビオラの苗を植え、周辺を華やかに彩りました。



浦村アサリ研究会が天皇杯を受賞

第52回農林水産祭で、水産部門の最高賞である天皇杯を受賞した浦村アサリ研究会のメンバーが、11月29日に木田市長に受賞を報告しました。

同研究会は、カキ養殖業者の若手11人で構成され、カキ養殖のオフシーズンである夏に出荷できるものとして、3年前からカキ殻を活用したアサリ養殖に取り組んできました。

代表の浅尾大輔さんは「自分たちだけでなく全国の業者と力を合わせ、国産アサリの漁獲量を増やしていきたい」と熱く語ってくれました。



みんなでペッタン！もちつき大会

12月7日、市立答志小学校で毎年恒例のもちつき大会が行われました。

答志保育所・小学校・中学校の子どもたちが、重そうにきねを持ちながら「よいしょ」の掛け声に合わせて順番にもちをつきました。つかれたもちは、婦人会やPTA役員のみなさんが丸め、参加者に配られました。

つきたてのもちを食べた参加者は「久しぶりにつきたてを食べたら、おいしい」などと話し、出来たてを味わいました。



ひと足早く、大人のクリスマス

12月14日、鳥羽マリンターミナルでクリスマスイベントとしてジャズコンサートが開かれました。

演奏は「杉山貴子 with Do Jazz」のメンバー6人で行われ、スタンダードジャズやクリスマスソング、映画音楽など16曲を披露しました。

サンタクロースの人形やクリスマスツリーが飾られた会場には約80人が来場し、ひと足早いクリスマスの雰囲気を楽しみました。